

## 【NFT アート】所有権が明確な”うさぎアイコン画像”を販売 ～【来年はうさぎ年企画その1】CryptoPunks ライクな CryptBunny を OpenSea で販売開始～

うさプロ(屋号:ネクストスフィア、所在:東京都町田市、代表:秋田 潤)は、昨今注目される NFT アート(※)として、うさぎアイコン画像を販売します。製品名は『CryptBunny ～うさぎ飼い主用の NFT アートコレクション～(くりぷとばにー)』です。

※NFT アートとは？

所有権が明確で、転売すらも可能なデジタルアート／電子画像／電子ファイル。コピーは無限に可能だが、所有権を持つただ一人が明確であることをふまえて価値が高まりやすい。最も有名な NFT アート(CryptoPunks)の場合、**デジタルアート**たったひとつの**最低価格がおよそ一千六百万円**になっている。

当『CryptBunny』の主要用途は、うさぎを飼っている人に、自分のうさぎと同種類のうさぎアイコン画像を SNS 等で使用いただくことです。

なお、うさぎの種類ごとに 1 枚の画像しか提供しておりませんので、**先着順での購入**となります(転売は可能です)。



図 1 キービジュアル

『CryptBunny ～うさぎ飼い主用の NFT アートコレクション～』では、うさぎ標準化組織たる”ARBA(American Rabbit Breeders Association)”が公認したうさぎ品種のうち、日本国内で数が多いうさぎのみをアイコン画像化します。

具体的には、ホーランドロップ品種(たれ耳うさぎの一種)は 158 通りにパターン化できますので、当『CryptBunny』のうさぎアイコン画像も合計 158 パターン用意しております。

なお、ホーランドロップ品種(たれ耳うさぎの一種)のうさぎは世の中にたくさんおり、それらは 158 通りのいずれかとなります(ミスカラーなどの例外はあるが当『CryptBunny』では考慮しません)。しかし当『CryptBunny』のうさぎアイコン画像はパターンごとに一点物であるため、パターンごとに先着 1 名のみが所有できます。誰かが所有済みのアイコン画像を希望する場合、所有者の売却を待つこととなります(これが NFT アートの転売です)。

たとえば、ホーランドロップ品種(たれ耳うさぎの一種)のうさぎのうち、人気の高いブローケンオレンジ(ぶち柄&オレンジ色)のブランケットタイプ(ぶち柄の模様が背中全体に広がるタイプ)の画像は一点のみとなります。これを A さんが所持している場合、B さんが手に入れるためには A さんからの転売を待つ必要があります。

### ■既存の NFT アートとの違い■

提供される NFT アート数量が少ないという点が、既存の NFT アートとの大きな違いとなります。

『CryptBunny ～うさぎ飼い主用の NFT アートコレクション～』では、前述のように、うさぎ標準化組織”ARBA”が公認したう

うさぎ好きが高じた うさプロの プレスリリースです

さぎ品種のみをパターン展開しているため、数量が限定されております。

しかし、最も有名な NFT アート (CryptoPunks) をはじめとした既存の NFT アートは、自動生成される または 無限に増殖させることができる架空のものをテーマとしております。従って、提供される NFT アート自体も 1 万個などという多量なものとなります。

### ■当『CryptBunny』のこだわり■

うさぎに対する専門的知見をもって、うさぎをデフォルメ化しております。

ありえない色、ありえないパーツ (たとえば ω の形の口) などは使っておりません。

うさぎと一口にいても、うさぎの品種としてホーランドロップ品種 (たれ耳うさぎの一種) やネザーランドドワーフ (立ち耳うさぎの一種)、品種内のグループ分けとしてブロークグループ (ぶち模様) やシェイデッドグループ (グラデーション模様)、色のバリエーションとしてオレンジやオパールなどがあります。また、限られた数ですがルビーアイド (赤目) やブルーアイド (青目) などもあります。

さらには、頭のクラウン (ふさふさな毛) や、メス特有のまふまふ (アゴ部分のマフラーのような毛) などもあります。

それらの要素を 24 ドット × 24 ドットの中に詰め込んだのが『CryptBunny ～うさぎ飼い主用の NFT アートコレクション～』となります。

なお、これらの画像はすべて手作業で作成しております。



図 2 うさぎの特徴をドット絵の中で表現するこだわりの一例

たとえば、このようなパターンがあります。

すべて、現実に存在する公認パターンであり、当『CryptBunny』が架空に制作したパターンではありません。

- ・画像1 ホーランドロップ品種 / 性別メス / アーチグループ / チェスナット色
- ・画像16 ホーランドロップ品種 / 性別オス / ブロークグループ (ブランケット) / 黒色
- ・画像48 ホーランドロップ品種 / 性別オス / ブロークグループ (スポッテッド) / ブルートート色
- ・画像93 ホーランドロップ品種 / 性別メス / ポインテッドホワイトグループ / チョコレート色
- ・画像102 ホーランドロップ品種 / 性別オス / セルフグループ / ブルーアイドホワイト (青目)
- ・画像109 ホーランドロップ品種 / 性別メス / シェイデッドグループ / セーブルポイント
- ・画像131 ホーランドロップ品種 / 性別メス / タンパターングループ / ライラックオター
- ・画像138 ホーランドロップ品種 / 性別オス / チックドグループ / スチールブルー (金)
- ・画像139 ホーランドロップ品種 / 性別メス / チックドグループ / スチールブルー (銀)
- ・画像152 ホーランドロップ品種 / 性別オス / ワイドバンドグループ / フォーン

### ■販売方法■

NFT アート取り扱いの最有力 Web サイトである OpenSea で取り扱います。

販売ページ URL: <https://opensea.io/collection/cryptbunny>

購入通貨は日本円ではなく、仮想通貨イーサリアム (Ethereum) となります。あらかじめ、仮想通貨取引所等で仮想通貨イーサリアムを入手する必要があります。

価格帯は、画像 1 パターンあたり、日本円で数百円ほど (※) となっております。仮想通貨建てであるため、価格は常時変動している点にご留意ください。

※画像102 (青目) など、特徴的な画像については価格帯を上げております。

うさぎ好きが高じた うさプロの プレスリリースです

#### ■今後について■

このたび NFT アートたる『CryptBunny ～うさぎ飼い主用の NFT アートコレクション～』を販売開始することで、日本国内におけるうさぎの知名度向上に寄与したいと考えております。また、米国のようにうさぎ文化が根づいている地域には、うさぎの NFT という新たな観点を届けたいと考えております。

今後は、ネザーランドドワーフ(立ち耳うさぎの一種)のうさぎアイコン画像を作成予定のほか、来年訪れる「うさぎ年(卯年)」に活用可能な画像素材として『ほほえみうさぎ』の NFT アートを提供予定です。

#### ◆NFT アート『CryptBunny ～うさぎ飼い主用の NFT アートコレクション～』

販売ページ URL: <https://opensea.io/collection/cryptbunny>

#### ◆来年はうさぎ年企画一覧

その1 NFT アート『CryptBunny ～うさぎ飼い主用の NFT アートコレクション～』

以後、順次企画予定

#### ◆本プレスリリースの電子ファイル

PDF の URL: [http://nextsphere.jp/pressrelease/20220127\\_CryptBunny.pdf](http://nextsphere.jp/pressrelease/20220127_CryptBunny.pdf)

画像一式の URL: [http://nextsphere.jp/pressrelease/20220127\\_CryptBunny.zip](http://nextsphere.jp/pressrelease/20220127_CryptBunny.zip)

#### ◇後付／うさプロの紹介

当プレスリリース発行者は、『うさプロ🐰あきたじゅん ～うさぎの世界を創る “うさぎプログラマー”』という二つ名を名乗っております。

まったくうさぎに興味がなかった男性プログラマーです。うさぎ好きになる経緯は、ペットうさぎ用のスマホアプリ『うさぎ広場』で連載中のうさぎ生活実録マンガ『うさぎだもの。』をご覧ください。

うさプロは、うさぎ三人と、有名うさぎキャラクターのアイテムなどとともに、今日もうさぎのための企画開発を続けています。



図3 うさプロ近影

#### 【提供元概要】

会社名: ネクストスフィア (屋号)

代表者: 秋田 潤

所在地: 東京都町田市

創立: 2014年7月

URL: <http://nextsphere.jp>

#### 【お問合せ先】

■ネクストスフィア 担当: 秋田

Email: [nextsphere.jp@gmail.com](mailto:nextsphere.jp@gmail.com)

Tel: 050-5881-7674

※最初にご連絡くださった報道関係者様には、詳しいご説明をさせていただく等、柔軟に対応させていただきます。  
ご遠慮なくお申し付け下さいませ。